



## 鍛造プレス

いつもお世話になっております。

大和合金です。

配信第3回目となります今回のテーマは、1500トン油圧鍛造プレスです。

弊社では将来のBCP対応や作業の安全性への対応から、昨年1500トン油圧鍛造プレス(以下、1500トンプレス)を導入いたしました。導入決定から約2年後の2020年8月3日に据え付けが完了し、翌月の9月から本格稼働しております。



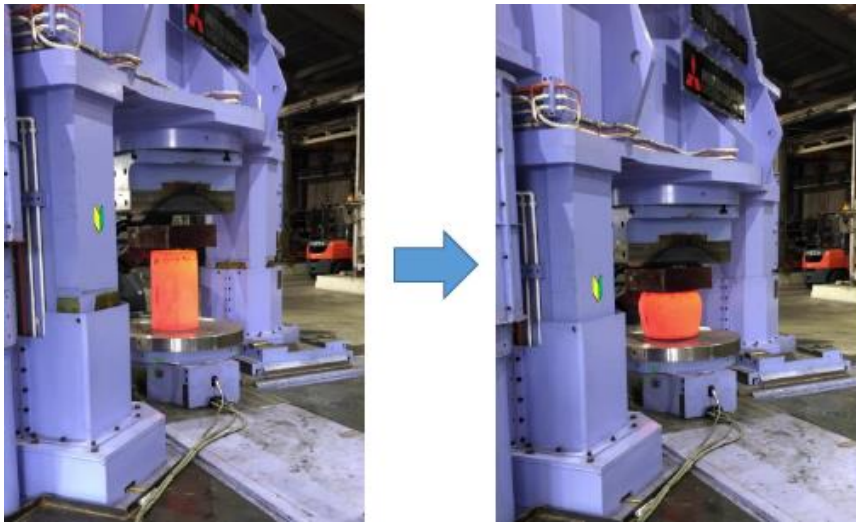
1500 トンプレスは設備と離れた場所から遠隔操作しており、ワークの落下や飛散といった危険がなく、安全に作業をおこなうことができます。またデジタルでの制御に変わったことにより、今までの職人技でのものづくりから、Eスポーツの世界に変わったような感覚です。

また設備の加圧力も格段に向上しており、従来の 2 トンエアハンマーでは 2 時間かかっていた、700 kgのインゴットの粗地鍛造が 1500 トンプレスではたったの数分で作業完了しました。

#### 1500-ton Hydraulic Press Installation Completion and Handover Ceremony 2020/8/3



*President Genjiro Hagino*



(The upset forging of a 700kg ingot, which with the conventional hammer, would take one to two hours, took only a few minutes to complete with the new press.)

設備能力の概略は以下の通りです。

設備名：三菱長崎機工製 2柱式プルダウン型 1500 トン油圧鍛造プレス

鍛造可能重量：インゴットサイズで約 3,000 kg

最大鍛造サイズ：W1500×L3000×H30 ※厚みは 30 ミリ以上となります。

なお、1500 トンプレスを使用した製品については、従来のエアーハンマーと同等の製品特性であることを検証しており、更には、これまでのエアーハンマーでは対応できなかった大型製品の鍛造加工、製品化が可能となります。

もちろん、従来のエアーハンマーはその特長を生かし今後も使用していきます。

エアーハンマーの特長は、金敷がワークと接触する面積や時間が少なく、ワークが冷めにくいことにあります。また小回りが利くことで汎用性が高いです。

1500 トンプレス導入により、塑性加工は「プレス」「ハンマー」「押出」「引抜」が揃いました。これらに熱処理や機械加工、各種検査を組み合わせることで、素材に対するお客様からのご要望に対して、一気通貫でお応えすることができます。

最近では、鍛造工程のみの請負加工もご好評いただいております。一気通貫での素材製作のみならず、部分的な工程のご依頼にも喜んで対応いたします。是非一度お気軽にご相談ください。

長文にお付き合いいただきありがとうございます。いかがでしたでしょうか。

今後もこのような新しい情報を随時発信して参りますので、ご期待ください。